

Ⅱ 対象市町通学路安全対策状況報告

通学路安全対策状況報告書

犬山市教育委員会

実施時期 実施場所	実施事項
5月13日 中部大学	<p>1 アドバイザーとの事前打合せ</p> <p>■打合せ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市の通学路にかかる現状課題の概要 ・通学路安全プログラムの作成 <p>■アドバイザーからの助言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の通学路事例等 <p>■参加者 3名</p> <p>アドバイザー1人、市教育委員会2人</p>
7月30日 犬山市役所	<p>2 第1回犬山市通学路安全対策連絡協議会</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 通学路安全施設新設・改修要望書提出のスケジュールについて ・通学路安全対策について（楽田小学校区変形五叉路交差点） ※前年度より継続案件 <p>■アドバイザーからの助言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通行規制をするための課題等 ・カーブミラー設置の危険性 ・通行する車両に優先道路と認識させない工夫 ・通学団を視覚的に隠す民間施設の形態を変えるなどの民間協力 <p>■参加者 19名</p> <p>アドバイザー1人、保護者1人、市教育委員会6人（うち事務局として4人）、学校3人、市民2人、道路管理者5人、警察署0人※事件対応のため急遽欠席、交通安全部局1人</p>

9月10日
池野小学校区

3 危険箇所の実地調査

■危険箇所の状況

- ①歩道幅が非常に狭い。
- ②近くの尾張パークウェイが無料化されたことにより、地域住民に限らず、小牧東インターチェンジが近いことから、ダンプカーなどの工事車両の抜け道としても利用されており、交通量が増加した。
- ③通学路が長い下り坂

■アドバイザーからの助言内容

- ・カラー舗装等により、視覚化させ、通学路であることを運転手に意識させる。
- ・カーブミラー設置による危険察知を行うことは、運転手、児童ともに錯覚を起こすこともあり、一概に設置をすることを薦めることはできない。
- ・通学路が遠回りとなるものの、安全を優先することも必要。

■参加者 8名

アドバイザー1人、市教育委員会5人、学校2人

9月11日
犬山南小学校区

3 危険箇所の実地調査

■危険箇所の状況

- ①近くに大きな工場があるため、朝の通勤・通学時間に交通量が多くなり、交差点付近で車両に接触する危険がある。
- ②道幅が広くないため、ガードレールや歩道整備はむずかしい。

■アドバイザーからの助言内容

- ・カラー舗装や看板により、視覚化させ、通学路であることを運転手に意識させる。

■参加者 5名

アドバイザー1人、市教育委員会3人、学校1人

9月12日
東小学校区

3 危険箇所の実地調査

■危険箇所の状況

- ①抜け道として通過する車両がスピードを上げているため、危険である。
- ②堤防側から横断歩道までの距離が短いため、運転手から児童が視覚に入ってから横断歩道を通るまでの時間が短いこと、下り坂のため車両が減速しづらいことから、児童が信号機のない横断歩道を通行する際に大変危険である。

9月16日
楽田小学校区

- アドバイザーの助言内容
 - ・運転手に通学路が近くにあることを認識させる看板等の設置により、危険度を認識させる工夫。

■参加者 7名
アドバイザー1人、市教育委員会3人、学校1人、市職員2人

3 危険箇所の実地調査

■危険箇所の状況

- ①県道からの抜け道として利用されており、坂道であり、曲がり道でもあり、視界が悪い。
- ②歩道が設置できない箇所を横断しているため、危険である。

■アドバイザーの助言内容

- ・車両規制をかけると、団地内の住民にも規制がかかるため、利用が不便になることが予想される。
- ・通学路を見直すことも必要である。

■参加者 7名
アドバイザー1人、市教育委員会3人、学校1人、市職員2人

10月22日
犬山市役所

4 各学校要望書ヒアリング

■ヒアリング内容

- ・各学校より提出された改修要望箇所を道路管理者である市、県の道路管理者、犬山警察署から質問等をもらい、課題を明確にすることで学校との共同理解を果たす。

■参加者 19名
アドバイザー1人、市教育委員会1人、各小中学校1人、市職員2人、犬山警察署1人

12月19日
中部大学

5 アドバイザーとの中間打合せ

■打合せ内容

- ・実地調査した通学路及び平成24年度に犬山市に要望された通学路危険箇所にかかる安全確保の方法について
- ・結果報告等、今後のスケジュール確認

■参加者 3名
アドバイザー1人、市教育委員会2人

2月3日
犬山市役所

6 第2回犬山市通学路安全対策連絡協議会

■協議内容等

- ・平成26年度 通学路安全施設新設・改修要望結果について
- ・平成27年度 通学路安全施設新設・改修要望書提出のスケジュールについて

■アドバイザーからの助言内容

- ・関係者同士の話し合う機会を増やし、PDCAサイクルの浸透化、何故危険かを知ること、何故改修工事ができないか、などお互いに情報を知ることが大事。
- ・今年度も実施した合同ヒアリングは、今後も互いに必要。

■参加者 15名

アドバイザー1人、保護者1人、市教育委員会6人（うち事務局として4人）、学校3人、学生1人、道路管理者2人、警察署3人、交通安全部局1人

3 成果と課題

■成果

- ・対策が必要な一定箇所について、解決につながるアドバイスをいただいた。今年度中にそのことも含めた対策工事が実施予定となった。
- ・犬山市通学路安全対策連絡協議会にて、通学路安全対策の効果的な要望方法等の考察を行うことができた。

■課題

- ・要望する側、される側による潤滑なPDCAの適用。特にチェックである評価、確認の実施。
- ・要望を出す側の情報把握と危険度、改修方法に対する道路管理者との認識の差。

通学路安全対策状況報告書

常滑市教育委員会

実施時期 実施場所	実 施 事 項
6月9日 大同大学	<p>1 アドバイザーとの事前打合せ</p> <p>■打合せ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の常滑市通学路安全推進会議の進め方 <p>■参加者2名</p> <p>アドバイザー1名、市教育委員会1名</p>
7月15日 三和小学校区他 3校3箇所	<p>2 危険箇所の実態調査（第1回）</p> <p>■危険箇所の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量の調査（児童生徒数、自動車の台数） ・道路は狭いが、地元の人たちの自動車の通行のため、台数も少ないし、スピードを落として安全に走行している。（三和小学校） ・路側帯が狭く、登校時には自動車の通行も多く危険に感じる。（大野小学校） ・見通しが悪く危険に感じる。（大野小学校、青海中学校） <p>■参加者4名</p> <p>アドバイザー1名、市教育委員会3名</p>
7月25日 常滑市役所	<p>3 第1回常滑市通学路安全推進会議</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度報告の危険箇所の学校からの報告 ・現地調査の結果の報告 ・対策（案）についての意見交換 ・今後のスケジュールについて ・アドバイザーからの助言 <p>■アドバイザーからの助言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の人が使用する道（他の人はあまり使わない）であるなら通行規制は難しいのではないか。 ・ぎりぎり交差点付近で中央線を引き、そこまで広い路側帯を取って、リブ式の塗装、又はカラー舗装で減速を促すような措置をとるのはいかがでしょうか。 ・線が消えかかっているの、早急に対応をするように。 ・路側帯を広く取れないか。ただしあまり広く取りすぎると自転車が通行できる場所が狭まるため、注意が必要。 ・スピードが出ているからだと思われる。路面に横断歩道あり等の

	<p>注意喚起をしてはどうか。 等</p> <p>■参加者 35名 アドバイザー 1名、市教育委員会 6名、区長 8名、PTA 6名、子どもを守る会 2名、学校 6名、市道路管理者 1名、市安全協働課 1名、県知多建設事務所 1名、警察署 2名、県教育委員会 1名</p>
<p>7月25日 常滑西小学校区 他2校3箇所</p>	<p>4 平成25年度の対策箇所の実態調査</p> <p>■対策箇所の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ集積場の移動 ・グリーンラインの設置 ・「通学路」の道路標示 ・側溝の改良工事 等 <p>■参加者 3名 アドバイザー 1名、市教育委員会 2名</p>
<p>8月25日 常滑市役所</p>	<p>5 第2回常滑市通学路安全推進会議</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の危険箇所に対する対策（案）の説明及び意見交換 ・平成25年度の対策箇所の報告 ・今後のスケジュールについて ・アドバイザーからの助言 <p>■アドバイザーによる意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラー化をすれば、交差点を認識しやすくなる。 ・優先道路を設定する方法もある。規制までしなくても停止線があればドライバーは認識するので、効果はある。 ・走行してくる車に手前から危険な交差点があることが認識できるよう、横断者注意の標記をすると効果は大。横断歩道前のひし形と合わせて標記するとよい。 ・減速マークや、滑り止めをするのはどうか。 ・児童が側溝の上を歩いているので、滑らない工夫を。金物は滑る。去年の大坂屋の前の側溝のような処置はいい。その上で、路側帯と側溝の間にグリーンラインを入れれば、1.5メートル確保できる。 ・歩道を前だしするのはどうか。 ・歩道がない道路については、路側帯を広く取ってほしい。 等 <p>■参加者 29名 アドバイザー 1名、市教育委員会 4名、区長 7名、PTA 4名、子どもを守る会 1名、学校 6名、市道路管理者 1名、市安全協働課 1名、県知多建設事務所 2名、警察署 2名</p>

11月25日
常滑市役所

6 第3回常滑市通学路安全推進会議

■協議内容

- ・平成26年度の危険箇所に対する対策（案）の説明及び意見交換

■アドバイザーによる意見

- ・路面標示で通学路を示してほしい。（通る方が通学路と知っているだろうから、必要ないかもしれないが。）
- ・防災上からもみなし道路は好ましくない。
- ・減速マークや、滑り止めをするのはどうか。
- ・児童が側溝の上を歩いているので、滑らない工夫を。金物は滑る。去年の側溝のような処置はいい。その上で、路側帯と側溝の間にグリーンラインを入れれば、1.5メートル確保できる。
- ・歩道がない道路については、路側帯を広く取ってほしい。 等。

■参加者28名

アドバイザー1名、市教育委員会6名、区長6名、PTA3名、子どもを守る会1名、学校6名、市道路管理者1名、市安全協働課1名、県知多建設事務所2名、警察署1名

3 成果と課題

■成果

- ・アドバイザーの専門的識見による助言等から適切な対策（案）をまとめることができた。
- ・学校と警察や道路管理者、地域の代表等が一堂に会して、話し合いの場をもつことができた。
- ・第2回目の会議で意見のまとまった箇所については、対策を施し、第3回目の会議で報告をすることができた。

■課題

- ・通学路の改善、改修についての予算措置が必要である。
- ・他の小学校区の通学路の安全対策も必要である。

通学路安全対策状況報告書

津島市教育委員会

実施時期 実施場所	実施事項
<p>8月 6日 津島市役所神 守支所</p>	<p>1 第1回津島市通学路安全推進会議</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全プログラムについて ・ 対象とする危険箇所について ・ 危険箇所調査計画について ・ 今後のスケジュールについて <p>■アドバイザーの助言内容</p> <p>危険度の優先順位か、実施優先の優先順か。次回、現地調査をする前に、学校から危険度優先順位の確認をしてもらう。現地調査後、対策案を事務局に担当所管がそれぞれ報告をする。</p> <p>評価については、豊田市の場合、ヒヤリハット情報を収集している。</p> <p>■参加者16名</p> <p>アドバイザー1名 市教育委員会4名 学校3名 市道路管理者2名 市地域安全課2名 県海部建設事務所2名 警察署1名 海部教育事務所1名</p>
<p>8月18日 午前 西小学校区 8箇所</p>	<p>2 危険箇所実態調査</p> <p>■危険箇所の状況とアドバイザーの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信号の時間が短く、横断距離が極端に長い。途中で待つ場所がなく危ない（西小学校）

午後
高台寺小校区
6箇所

アドバイザーによる意見

「横断歩道の信号時間15～20秒。看板がたっているスペースを一つの島としてわたる。」

- ・ 歩行者用の信号機がないため、危険である。(西小学校)

アドバイザーによる意見

「いろんな信号機があるという考えで、子どもらに指導をしてはどうか。」

- ・ 歩道がなく危険な状態のまま、通学路の変更は難しい。(西小学校)

アドバイザーによる意見

「PTA、地域の支援をお願いしては。」

- ・ 横断歩道の線が消えかかっている。(西小学校)

アドバイザーによる意見

「ラインを明確に。」

- ・ 交通量が多く横断注意、一部通学団が通学路変更したがまだ通る団がある。(西小学校)

- ・ 5叉路で横断歩道がなく危ない。(西小学校)

アドバイザーの意見

「PTA、地域の支援をお願いしては。」

- ・ 道が狭くなっており車が来ているか見にくい。(西小学校)

アドバイザーの意見

「グリーンベルトをつけて通学路であることを知らせる。一時停止を明確にし、子どもが通ることを知らせる。」

- ・ 歩道に段差があり、危ない。(西小学校)

アドバイザーの意見

「担当の所管にただちに知らせ対応を。」

- ・ 団地横の南北道路は、直線道路で交通量が多い。

横断歩道はあるが車速を落とす車が少ない。(高台寺小学校)

アドバイザーの意見

「西側からくる歩行者が、南北の本線の車の確認をする時、見通しが悪い。ITS技術(速度を検知して運転手に知らせる)を導入しては？」

- ・ 地区内の農道が2車線になり通行量が増加した

今まで横断歩道のないところを横切っていたが、見通しが悪く危険である。また、その交差点から、みどり台までの通学路に進入する車が多くなり危険。(高台寺小学校)

アドバイザーの意見

「幅員幅があるので、両側OR片側の歩道はどうか。」

- ・ 道路南側の児童が増え、集合場所もできた。集団で児童が渡る

	<p>のに、横断歩道がなく、また、見通しも悪く危険である。（高台寺小学校）</p> <p>アドバイザーの意見 「交差点の中央をカラー化。または、四方向止まれ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 横断歩道が設置してあるが、北側からの見通しが悪い。（高台寺小学校） <p>アドバイザーの意見 「交差点の中央をカラー化。または、四方向止まれ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路幅の変化があり、また、登校時間帯に多くの車が通過するので危険である。また、横断歩道の表示も近づかないと確認できない。（高台寺小学校） <p>アドバイザーの意見 「植樹が視界の妨げになっている。伐採または中へ抑え込む。グリーンベルト、交差点中央のカラー化。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 東側（右側）にトラックの出入りする倉庫があり、西側を通している。（高台寺小学校） <p>アドバイザーの意見 「倉庫の心配はあまりないが、むしろ側溝のふたをつけることが必要。一時停止のラインが消えかかっている。交差点中央のカラー化。」</p> <p>■参加者 14名 アドバイザー 1名 市教育委員会 2名 学校 5名 市道路管理者 2名 県海部建設事務所 2名 警察署 2名</p>
<p>10月 8日 津島市 生涯学習センター</p>	<p>3 第2回津島市通学路安全推進会議</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 対策評価の方法について 危険箇所対策案の決定について 今後の予定 <p>■アドバイザーの助言内容 各担当より活発な意見がでて、有意義な話し合いだった。評価については、一つに絞らなくてもいいのではないか。また、1年間に何度も対象箇所でも事故はない。警察に平成25年度までのその箇所の事故データがあるので、比較して評価をするのもよい。</p> <p>■参加者 15名 アドバイザー 1名 市教育委員会 4名 学校 3名 市道路管理者 1名 市地域安全課 2名 県海部建設事務所 2名 警察署 1名 海部教育事務所 1名</p>

<p>11月20日 津島児童科学館</p>	<p>4 第3回津島市通学路安全推進会議</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対策評価の方法について ・ 危険箇所対策案の決定について ・ 事実の成果と課題について ・ 今後の予定 <p>■アドバイザーの助言内容</p> <p>現地調査については、通学時間帯がよいのか、通学時間帯を避けてじっくり見るのか、議論していくことが大切。優先順位の手順の仕方の文言を一考したい。</p> <p>■参加者12名</p> <p>アドバイザー1名 市教育委員会2名 学校3名 市道路管理者1名 市地域安全課1名 県海部建設事務所2名 警察署1名 海部教育事務所1名</p>
---------------------------	---

3 成果と課題

■成果

- ・ 学校からの優先順位を基本にして、危険箇所対策案の決定と優先順位の手順を事前に示したことで、話し合いをスムーズに進めることができた。
- ・ 協議会の中で、対策案に対して各所管担当から考え方を聞くことができ、積極的な議論をすることができた。

■課題

- ・ 現地調査を通学時間帯にするかどうか、事前によく検討をする必要がある。
- ・ 今回、8小学校のうち2校を合同点検実施校として、14の危険箇所の提示があったが、来年度以降の学校数、箇所数をどうするかについては、今後検討をしていく。

通学路安全対策状況報告書

東 浦 町 教 育 委 員 会

実施時期 実施場所	実 施 事 項
6月2日 名古屋工業大学	<p>1 アドバイザーとの事前打合せ</p> <p>■打合せ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規及び継続危険箇所について ・現地点検及び会議の日程について ・交通安全プログラムについて <p>■参加者3名 アドバイザー1名、町教育委員会2名</p>
6月16日 西部中学校区 1校3箇所	<p>2 アドバイザーと危険箇所の現地点検調査（第1回）</p> <p>■点検箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に西部中学校PTAより提出された危険箇所 <p>■参加者3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー1名、町教育委員会2名
6月24日 緒川小学校区他 2校8箇所	<p>3 アドバイザーと危険箇所の現地点検調査（第2回）</p> <p>■点検箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に緒川、森岡小学校及び北部中学校PTAより提出された危険箇所 <p>■参加者5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー1名、町教育委員会1名、教諭各1名
6月26日 藤江小学校区他 1校3箇所	<p>4 アドバイザーと危険箇所の現地点検調査（第3回）</p> <p>■点検箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に藤江、生路小学校PTAより提出された危険箇所 <p>■参加者5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー1名、町教育委員会2名、教諭各1名
7月2日 卯ノ里小学校区 1校4箇所	<p>5 アドバイザーと危険箇所の実態調査（第4回）</p> <p>■点検箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に卯ノ里小学校PTAより提出された危険箇所 <p>■参加者5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー1名、町教育委員会2名、教諭各1名

<p>7月7日 片葩小学校区他 1校8箇所</p>	<p>6 アドバイザーと危険箇所の実態調査（第5回）</p> <p>■点検箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に片葩小、東浦中学校PTAより提出された危険箇所 <p>■参加者4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー1名、町教育委員会2名、教諭1名
<p>7月29日 東浦町役場</p>	<p>7 第1回東浦町通学路交通安全対策連絡会</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全プログラムについて ・H25年度危険箇所及び平成26年度町P連予算要望（交通危険箇所）の対策状況確認について <p>■アドバイザーによる意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回策定した交通安全プログラムにもあるように、PDCAサイクルをまわす必要があります。そのためには対策内容と、それによる効果の把握をおこなってください。 <p>■参加者25名</p> <p>アドバイザー1名、町教育委員会6名、学校11名、町道路管理者3名、防災交通課1名、県知多建設事務所2名、警察署1名</p>
<p>9月25日 東浦町役場</p>	<p>8 第2回東浦町通学路交通安全対策連絡会</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回連絡会会議録の承認について ・第1回連絡会において次回以降報告となっていた箇所の確認 ・未対策箇所の対策計画について ・平成27年度町P連予算要望書（交通危険箇所）について <p>■アドバイザーによる意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未対策箇所及び要望した対策内容が実施不可の危険箇所について、代替案等の助言をいただきました。 <p>■参加者24名</p> <p>アドバイザー1名、町教育委員会6名、学校11名、町道路管理者3名、防災交通課1名、県知多建設事務所2名</p>
<p>11月28日 東浦町文化センター</p>	<p>9 第3回東浦町通学路交通安全対策連絡会</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回連絡会会議録の承認について ・既存の危険箇所及び対策状況の確認 ・平成27年度町P連予算要望書（交通危険箇所）について ・対策箇所図及び対策一覧表（案）について

■アドバイザーによる意見

- ・未対策箇所及び要望した対策内容が実施不可の危険箇所について、代替案等の助言をいただきました。

■参加者 27 名

アドバイザー 1 名、町教育委員会 6 名、学校 11 名、町道路管理者 4 名、防災交通課 2 名、県知多建設事務所 2 名、警察 1 名

3 成果と課題

■成果

- ・これまでは学校から危険箇所の改善要望を提出しても、「不可能」「検討する」で終わっていたり、「〇〇で対応」等一方的に代替案を実施するのみだった。しかし、話し合いの場ができたことにより、具体的な対策案の検討や、双方了承した上での代替案の話ができた。

■課題

- ・危険箇所調査で挙げられた対策箇所のうち、対策を終えた箇所について PDCA の Check 及び Assessment に重きを置いておらず、今後は PDCA をしっかり回すことが課題だと感じた。
- ・学校側は危険箇所について有効で実現可能な対策案がわからないため、つい実現が難しい信号や横断歩道の新規設置を要望してしまう。道路管理者や警察と認識のずれがあるため、どのようなものであれば実現しやすいのか、危険箇所対策としてどのようなものがあるのかを、学校側と共有する必要があると感じた。

通学路安全対策状況報告書

豊橋市教育委員会

実施時期 実施場所	実施事項
4月22日 豊橋市役所	<p>1 警察・道路管理者・市安全担当との打ち合わせ</p> <p>■打合せ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定通学路一斉点検の方法の確認 ・25年度までの通学路点検の成果と課題の確認 ・アドバイザーへの依頼事項の確認 <p>■参加者8名 警察署1名，県道路管理者2名，市道路管理者2名，市安全生活課1名，市教育委員会2名</p>
5月9日 教育会館	<p>2 第1回豊橋市立小中学校安全主任研修会 並びに第2回安全主任会</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話 「通学路における児童生徒の安全対策について」 講師 豊橋警察署 交通課 白井 隆是 氏 前川 貢 氏 「通学路に関する安全管理および要望事項に取り扱いについて」 講師 建設部道路維持課 内藤 宏樹 氏 ・指定通学路一斉点検についての説明 市教育委員会担当主事 <p>■参加者78名 警察署2名，市道路管理者1名，市教育委員会1名，市内小中学校安全主任74名</p>
5月23日 豊橋技術科学大 学	<p>3 アドバイザーとの打ち合わせ</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市の安全対策の概要説明 ・平成26年度の事業計画（案） <p>■アドバイザーからの助言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市の取り組みについて指導・助言 ・アドバイザーの訪問計画について <p>■参加者2名 アドバイザー1名，市教育委員会1名</p>

7月7日 豊橋市役所	<p>4 第1回豊橋市通学路安全対策連絡協議会</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定通学路一斉点検の対策必要箇所の現地調査について <p>■アドバイザーからの助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応が難しい箇所の現地調査について <p>■参加者9名</p> <p>アドバイザー1名，警察署1名，県道路管理者1名，市道路管理者4名，市生活安全課1名，市教育委員会1名</p>
8月25日 26日 27日 29日 豊橋市役所	<p>5 指定通学路一斉点検の要望事項に関する説明会</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校からの要望事項に対する管理者からの回答と今後の対応策の説明 ・各学校の安全担当者からの質疑・応答 <p>■参加者10名</p> <p>アドバイザー2名，警察署1名，県道路管理者1名，市道路管理者4名，市生活安全課1名，市教育委員会1名 各小中学校の安全担当者</p>
8月26日 豊橋市役所	<p>6 第2回豊橋市通学路安全対策連絡協議会</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査の候補，対策困難箇所の次善策について <p>■参加者8名</p> <p>アドバイザー2名，警察署1名，県道路管理者1名，市道路管理者2名，市生活安全課1名，市教育委員会1名</p>
10月8日 豊橋市役所	<p>7 現地調査について道庁管理者との打ち合わせ</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査箇所について確認 ・現地調査の日程 <p>■参加者3名</p> <p>市教育委員会1名，市道路管理者2名</p>
10月16日 豊橋警察署	<p>8 現地調査について警察との打ち合わせ</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査箇所について確認 ・現地調査の日程 <p>■参加者2名</p> <p>市教育委員会1名，警察1名</p>

<p>1 1月5日 牟呂小学校 牟呂中学校</p>	<p>9 通学路の現地調査</p> <p>■危険箇所の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の前の道路は、幅が狭いが、生活道路や広い道路の抜け道として車の利用者がとても多い。また、速度制限も設けられていないため車の走行速度も速い。特に、生徒の登下校の時間帯は通勤・帰宅時間帯と重なり車の交通量がとても多い。(牟呂中学校) <p>■参加者9名</p> <p>アドバイザー1名、警察署1名、市道路管理者2名、市教育委員会1名、学校関係者3名、校区自治会1名</p>
<p>1 1月6日 幸小学校</p>	<p>10 通学路の現地調査</p> <p>■危険箇所の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道幅が狭く、見通しも悪い交差点。県道の抜け道になっており、朝の交通量も多い。点滅信号も設置されているが、児童が横断歩道の前に立っても、車は止まってくれない。道路沿いの店舗前に車が停まっていることが多い。 <p>■参加者5名</p> <p>警察署1名、市道路管理者2名、市教育委員会1名、学校関係者1名</p>
<p>1 1月11日 多米小学校</p>	<p>11 通学路の現地調査</p> <p>■危険箇所の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校近くの横断歩道で、多くの児童が利用するが、バス通りであり通学・下校時間帯は通行車両が多く、危険である。 <p>■参加者6名</p> <p>アドバイザー1名、警察署1名、市道路管理者2名、市教育委員会1名、学校関係者1名</p>
<p>1 1月13日 松葉小学校 2箇所</p>	<p>12 アドバイザーとの現地調査と第2回安全主任会の打ち合わせ</p> <p>■危険箇所の状況</p> <p>国道沿いの歩道で、JRの線路をくぐる場所。児童はその歩道に、脇にある階段から降りて入る。その際に、歩道から下ってきた自転車と接触しそうになる。特に、合流する場所は狭く、自転車のスピードも出ていて危険である。また、合流後はさらに歩道幅が狭くなり、接触の危険性が高まる。</p> <p>■打ち合わせの内容</p> <p>現地調査の結果を総括して、安全主任会で伝達する内容を確認</p> <p>■参加者8名</p> <p>アドバイザー2名、警察署1名、県道路管理者1名、市道路管理者2名、市教育委員会1名、学校関係者1名</p>

<p>12月12日 ライフポートと よはし</p>	<p>13 第2回豊橋市立小中学校安全主任研修会 並びに第2回安全主任会</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全についての講話 「平成26年度指定通学路一斉点検を生かした安全対策について」 講師 アドバイザー 豊橋技術科学大学 松尾幸二郎 助教 ・指定通学路一斉点検の総括（市教育委員会） ・アドバイザーの現地調査結果報告（市教育委員会） <p>■参加者76名 アドバイザー1名，市教育委員会1名，市内小中学校安全主任74名</p>
-----------------------------------	---

3 成果と課題

■成果

- ・指定通学路一斉点検の結果をふまえ，アドバイザー，市道路管理者，県道路管理者，警察，市教育委員会，学校関係者で，現地調査を行い，連携して複合的な次善策を講じることができた。
- ・アドバイザーからの助言により，学校が要望した対策よりも実現性が高くかつ効果的な代替対策の検討や実施につながった。特に，道路管理者，警察では対策について難しい場合は，学校が通学路を変更し，変更後の通学路を警察と道路管理者が安全対策を強化するなど，連携した対策が提案されたことで実現性が高まった。

■課題

- ・対策済みの箇所に把握と対策後の効果については，把握が十分できていない。対策評価とともに，次年度の課題とする。

通学路安全対策状況報告書

豊川市教育委員会

実施時期 実施場所	実施事項
5月23日 豊田高専	<p>1 アドバイザーとの事前打合せ</p> <p>■打合せ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの豊川市通学路安全対策の説明 ・本年度の活動の進め方について <p>■参加者2名 アドバイザー1名、市教育委員会1名</p>
6月25日 音羽庁舎	<p>2 第1回豊川市通学路安全推進会議</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度報告の活動の内容について ・豊川市通学路交通安全プログラムについて ・今後のスケジュールについて ・アドバイザーによる助言 <p>■アドバイザーからの助言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策に対する評価がしっかりとできるとよい。 ・現地調査については、子どもが実際に通る時間に設定できるとよい。また、現地調査をし、そのまま会議ができるような形が取れるとよい。 <p>■参加者11名 アドバイザー1名、市教育委員会2名、学校1名、市道路管理者2名、市人権交通防犯課1名、東三河建設事務所1名、警察署1名、PTA1名</p>
7月7日 豊川小学校 3箇所	<p>3 危険箇所の実態調査（第1回）</p> <p>■危険箇所の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量が多い道路にもかかわらず横断歩道がないため危険に感じる場所がある。 <p>■参加者7名 アドバイザー1名、市教育委員会1名、学校2名、市道路管理者1名、市人権交通防犯課1名、警察1名</p>
7月16日 豊小学校他 2箇所	<p>4 危険箇所の実態調査（第2回）</p> <p>■危険箇所の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅に行く抜け道になっており、朝の交通量が多い。昔ながらの住宅地であるため、道幅が狭く、いろいろな方面から車が来る。多くの班の集合場所になっている。

	<p>■参加者 8 名 アドバイザー 1 名、市教育委員会 1 名、学校 1 名、市道路管理者 2 名、市人権交通防犯課 1 名、警察 1 名、PTA 1 名</p>
<p>8 月 5 日 一宮西部小学校 6 箇所</p>	<p>5 危険箇所の実態調査（第 3 回）</p> <p>■危険箇所の状況 ・通学路が国道の抜け道なっているところが多く、通学の時間に危険を感じる。</p> <p>■参加者 7 名 アドバイザー 1 名、市教育委員会 1 名、学校 1 名、市道路管理者 2 名、市人権交通防犯課 1 名、警察 1 名</p>
<p>8 月 6 日 桜木小学校 豊小学校 6 箇所</p>	<p>6 危険箇所の実態調査（第 4 回）</p> <p>■危険箇所の状況 ・下り坂でスピードが出る道であるが、横断歩道がない場所を渡らないといけないため危険な箇所がある。</p> <p>■参加者 8 名 アドバイザー 1 名、市教育委員会 1 名、学校 1 名、市道路管理者 2 名、市人権交通防犯課 1 名、警察 1 名、東三河建設事務所 1 名</p>
<p>8 月 1 8 日 一宮東部小学校 4 箇所</p>	<p>7 危険箇所の実態調査（第 5 回）</p> <p>■危険箇所の状況 ・河岸段丘上に立地する学校なため、道が細く坂道が多い。国道の抜け道として使う車も多い。</p> <p>■参加者 8 名 アドバイザー 1 名、市教育委員会 1 名、学校 1 名、市道路管理者 2 名、市人権交通防犯課 1 名、警察 1 名、東三河建設事務所 1 名</p>
<p>8 月 2 7 日 音羽庁舎</p>	<p>8 第 2 回豊川市通学路安全推進会議</p> <p>■協議内容 ・これまでの取組みについて ・アドバイザーによる助言</p> <p>■アドバイザーによる意見 ・昨年度と比べ、スピーディーに多くの箇所の対策を考えることができた。予算の関係もあるので早く行えた事は良かった。 ・各校に決定した対策を伝え、地域や児童生徒への周知を依頼すること。また、今後問題が発生したときどのようにしていけばよいかを知らせる必要がある。</p> <p>■参加者 9 名 アドバイザー 1 名、市教育委員会 1 名、学校 1 名、市道路管理者 2 名、市人権交通防犯課 1 名、東三河建設事務所 1 名、警察署 1 名、PTA 1 名</p>

<p>11月26日 音羽庁舎</p>	<p>9 第3回豊川市通学路安全推進会議</p> <p>■協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組みについての各校への報告 ・質疑応答 ・本年度の反省と来年度の方向性について ・アドバイザーによる助言 <p>■アドバイザーによる意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課が連携し、スピーディーに対策を考えることができてよかった。 ・地域と学校が一緒になって要望をあげていくことが大切。ばらばらで要望するよりも効力がある。 <p>■参加者18名</p> <p>アドバイザー1名、市教育委員会2名、学校8名、市道路管理者2名、市人権交通防犯課1名、東三河建設事務所2名、警察署1名、PTA1名</p>
------------------------	--

3 成果と課題

■成果

- ・現地調査に関係機関の方が毎回参加してくれたため、その場で話し合いができ、具体的に対策を考えることができた。
- ・早い時期に現地調査や検討会をおこなったため、予算の面でも見通しが立てやすかったようである。

■課題

- ・今回対策ができなかったところについて、引継ぎをしっかりとっていくとともに、安全性をいかに向上させていくか。
- ・対策を終えた箇所、対策に対する評価をどのように行っていくか。